

報道関係者各位

2025 年 10 月 15 日(水)

クリエイター側から見た生成 AI デジタルハリウッド大学大学院 公開セミナー AI Bricolage Session – Season 2 2025 年 11 月より隔月全 5 回開催

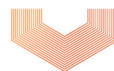


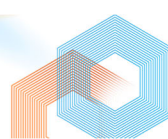
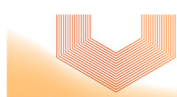
1st session は神山健治氏をゲストに迎え、
「シナリオから映像への共創」をテーマに 11/28 に開催
(参加: 有料・要予約 / 会場: 本学駿河台ホール)

日本初の株式会社による専門職大学院で、[SEAD (Science / Engineering / Art / Design)] 4 要素の融合をコンセプトとして、デジタルコミュニケーションを駆使し、社会に新しい産業や文化を生み出すリーダーを輩出するデジタルハリウッド大学大学院 (所在地: 東京・御茶ノ水、学長: 杉山知之、以下本大学院) は、「AI Bricolage (ブリコラージュ) Session – Season 2」と題した公開セミナーシリーズ (全 5 回) を 2025 年 11 月より開催します。

第 1 回となる 1st session は、「シナリオから映像への共創」をテーマに、『攻殻機動隊 S.A.C.』シリーズなどを手掛けたアニメ監督・脚本家・演出家の神山健治氏をゲストに迎えて、11 月 28 日 (金) 19:00～21:30 に開催します。

本公開セミナーシリーズは、2023 年 11 月から 2024 年 9 月にかけて開催した前シリーズ「AI Bricolage Session」が大変好評を博したことを受けての第 2 弾となります。今回も前シリーズ同様に、本学の福岡俊弘特命教授がモデレーターを務め、各分野の有識者をゲストに迎えて行います。





【開催趣旨】

生成 AI などの人工知能技術が飛躍的に進化し、あらゆる分野に影響を及ぼしています。一方で、これらの技術革新が人間の創作活動やクリエイティブな営みそのものにどのような意味を持つのか、またその意義や限界については、必ずしも一方的に好意的な評価だけでは捉えきれない複雑な問題が含まれています。本セッションでは、「人の創作、創作行為にとって AI は果たして意味をもつのか、もし意味を持つのであればどのような条件や限界の中でその価値が発揮されるのか」という問いに対し、映画監督、イラストレーター、音楽家、研究者など、様々な分野のクリエイターの視点から議論を深めます。

【1st session 概要】

「シナリオから映像への共創」

映画制作の現場における物語構想から映像表現まで、AI が新たなツールとして利用される中での創作プロセスへの影響と境界条件について議論します。

■ゲストプロフィール



神山健治氏(かみやまけんじ 1966 年 3 月 20 日生まれ)

埼玉県秩父市出身のアニメ監督・脚本家・演出家。代表作に『攻殻機動隊 S.A.C.』シリーズ、『東のエデン』、『ひるね姫 ～知らないワタシの物語～』など。近年では、劇場版『ロード・オブ・ザ・リング ローハンの戦い』の監督を務め、また『攻殻機動隊 SAC_2045 最後の人間』などにも関わっている。

■開催概要

日時: 2025 年 11 月 28 日 (金) 19:00 - 21:30

会場: デジタルハリウッド大学 駿河台ホール

参加: 2,000 円(税込)

定員: 50 名

申込: <https://bricolage2-01.peatix.com>

【シリーズ開催概要】

イベント名: デジタルハリウッド大学大学院 × AI Bricolage Session - Season 2

～AI をめぐる連続セッション_駿河台会議 On the Creators' Side～

開催期間: 2025 年 11 月～2026 年 7 月(隔月開催・全 5 回)

会場: デジタルハリウッド大学 駿河台ホール

参加費: 2,000 円(税込・各回)

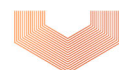
主催: デジタルハリウッド大学大学院

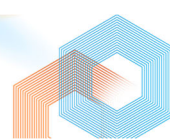
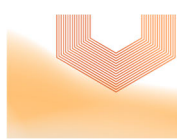
モデレーター: 福岡俊弘(デジタルハリウッド大学大学院 特命教授)

【2 回以降のセッション(予定)】

第 2 回: 2026 年 1 月開催

テーマ: 「創造の再定義と AI」





ゲスト：林信行氏（フリーランス IT ジャーナリスト兼コンサルタント）

生成 AI がもたらした創造・創作の世界の変容と、これから先に訪れる可能性について探求します。AI 技術が従来の創作活動にどのような変革を促してきたのか、またその先にある新たな境界条件や課題について訴求していきます。

第 3 回：2026 年 3 月開催

テーマ：「音楽の未来の共鳴」

ゲスト：伊藤博之氏（クリプトン・フューチャー・メディア株式会社）、後藤真孝氏（国立研究開発法人・産業技術総合研究所）

音楽制作における作曲やサウンドデザインでの AI 活用事例を通じて、技術と創作の折り合いをどうつけるかという挑戦に迫ります。音楽業界の実践者と研究者の両面から、AI が音楽創作に与える影響を多角的に検証します。

第 4 回：2026 年 5 月開催

テーマ：「ビジュアルアートと AI との対話」

ゲスト：月神るな氏（イラストレーター）

デジタル技術の進化がイラストレーションやグラフィックデザインに開いた革新的表現の可能性と、AI による自動生成がクリエイターの個性に及ぼす影響を、現場での実践例や体験をもとに深く掘り下げます。

第 5 回：2026 年 7 月開催

テーマ：「未来創作の逆理」

ゲスト：武邑光裕氏（メディア美学者・予定）

生成 AI が投げかける恩恵と試練の両面を見つめ直し、未来の持続可能な創作環境をどのように構築すべきかを探求します。創作現場の不確実性、倫理的ジレンマ、創作の本質を揺るがすリスクについて深い問題提起とともに議論します。

【本セッションの特徴】

- ・実践と理論の交差点：現場で実際に AI ツールを取り入れた事例や、その導入によって生じた意図しない影響、または限界について、クリエイター自身の体験や考察を共有します。
- ・多様な視点の融合：異なるジャンルの専門家が集い、AI との共存を前提としつつも、そのメリットだけでなくデメリットや倫理的・実践的な課題にも焦点を当てます。
- ・ブリコラージュ的アプローチ：理論や設計図に基づく「設計」とは対照的に、その場で手に入るものを寄せ集め、試行錯誤しながら新しいものを作る「ブリコラージュ」の考え方を基盤とします。
- ・問いの再考：AI が一方的に創作活動を支援・補完する存在として捉えられる中で、「創造」とは何か、人間が創作する意味やその本質はどこにあるのかという問いを再定義します。

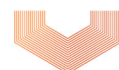
【お問い合わせ先】

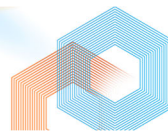
デジタルハリウッド大学大学院 AI Bricolage Session - Season 2 事務局

メール：daigakuin@dhw.ac.jp

【デジタルハリウッド大学大学院について】

<https://gs.dhw.ac.jp/>





日本初の株式会社立の専門職大学院として 2004 年に開学。

超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出
べく、創発的学究領域 SEAD (Science / Engineering / Art / Design) の 4 要素をバランス良く身につけ
融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のア
イデアの実装およびスタートアップ支援により、「令和 6 年度大学発ベンチャー調査」(経済産業省)では
全国大学中 15 位、私立大学中 6 位となっており、多数の起業家を輩出している。

本大学院では、本学在籍の院生・修了生の起業・事業支援に注力しております。デジタルコミュニケーシ
ョン領域での産学協同研究にご興味をお持ちの方、本学への入学を検討されている方、また企業の皆
様は下記よりお気軽にお問い合わせください。

【デジタルハリウッド大学大学院事務局】

TEL: 0120-019-236 メール: daigakuin@dhw.ac.jp

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室: 川村

mail: press@dhw.co.jp

TEL: 03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト: <https://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース: <https://www.dhw.co.jp/press-release/>

